

## 令和6年度第1回印西市ふるさとづくり運営会議 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月7日（月）午後2時00分から午後2時55分まで
- 2 開催場所 印西市役所会議棟2階204会議室
- 3 出席者 九鬼修委員、清宮絹代委員、吉岡宏和委員、河村剛光委員、  
本多伸好委員、高橋徹委員、山本政雄委員
- 4 欠席者 平沢浩一委員、遠藤義彦委員
- 5 事務局 経済振興課山崎課長、金子室長、入江主査補、大木主査補、長田主任主事
- 6 傍聴者 なし
- 7 議事 (1) ふるさとづくり運営基金活用事業について
  - ①令和5年度 ふるさとづくり運営基金充当事業報告について
  - ②令和6年度 ふるさとづくり運営基金充当事業報告について
  - ③令和7年度 ふるさとづくり運営基金充当事業（案）について
- 8 議事録（要点筆記・一部要約）

### ○ふるさとづくり運営基金活用事業について

事務局より説明を行った。

### ○質疑

- |     |     |  |
|-----|-----|--|
| 議事① | 委員  | 冊子 INZAI LIFE はどのような場所で配布を行っているのか。   |
|     | 事務局 | 市内の公共施設での配布に加え、市外ではアリオ柏のラックを活用し、冊子を自由に手に取れるものとしている。また、市外に向けたイベント（柏レイソルのホームタウンデー、大井競馬など）での配布なども行っている。 |
|     | 委員  | INZAI LIFE はインターネットなどからのアクセスも可能になっているのか。   |
|     | 事務局 | ホームページ上でPDF形式での掲載を行っている。   |
|     | 委員  | 市のホームページにアクセスした際に、必要な情報がヒットしないことがあるので、改善をお願いしたい。   |
|     | 座長  | DX推進会議でも要望してみます。   |
| 議事② | 委員  | イルミネーション実施団体支援について昨年よりだいぶ多くなっているのは規模を大きくしているということか。  |
|     | 事務局 | こちらの事業については、令和6年度より募集团体数を3団体から5団体に増やしており、支援団体数が1団体増えたことによるもので、資材・工事費などの増や、市からの                       |

財源の増というものではない。

委 員  
事務局

むじな坂下お花畑の場所はどこか。  
竹袋交差点近くの万葉公園下のあたりにある。

委 員  
事務局

事業費と基金充当額の関係性について。  
令和5年度まで全額基金から充当としていたものを、令和6年度以降は事業費の2分の1を充当するものとしているが、団体の持ち出しがあるわけではなく、残りの半額は一般会計から出るものであり、市からの支援としては満額となっている。

委 員  
事務局

なにか議論があつてその運用なのか。  
基金の原資が寄付金であるため、より多方面の事業に充てさせていただくために事業費の2分の1としている。

委 員  
事務局

イルミネーション実施団体支援について市からは資金援助を行うのに対し、市民の方で提供する労力は何か。  
打合せへの参加や、現場の維持管理などを行っている。

議事③ 委 員  
事務局

中学生海外派遣事業について、前回、対象校の拡大について意見があったかと思うがどうなったか。  
令和5年度については印西中学校のみを対象となっていたが、令和6年度から「市内在住の中学生2～3年生」として募集を行っている。

委 員  
事務局

基金の充当額は増額傾向にあるようだが、市の会計予算の増え方とバランスはとれているのか。  
基金の推移として、平成22～23年頃には3億円ほどの基金残高があったが、市政20周年記念に際して大きい額の充当を行って以降は減少傾向で、令和6年度末で1億6千万の見込となっている。  
基金に充当している財源としては、ふるさと納税や企業からいただく寄付金を充てているが、5～6千万前後を充てられるものと見込んでいるので、全体の一般会計予算というよりも、基金の残高に着目し、充当していくことを考えている。また、充当額を2分の1としたことについても、この貴重な基金を、市の幅広い事業に充てていることを関係課や市民にPRできればと考えてのことである。  
令和8年には市政30周年を控えているため、その際には意見を伺うことになる可能性があるのをお願いしたい。

- 委員  
事務局  
イルミライ★INZAI は他の事業に比べて事業規模が大きくなっているが、内訳はどうなっているのか。  
市としても非常に力を入れている事業で、当初は 2～3 千万円規模でスタートしたものであるが、現在の市の考えとしては、今後も 4 千万円程度の事業として継続していきたいと考えているもの。  
増額の内訳としては人件費の高騰や、点灯式のイベント経費の増などによるもの。
- 委員  
事務局  
サマーフェスについて実際に訪れたが、とても良かった。例えば、竹袋調整池など他の場所についても、市からももう少し PR を検討していただけないか。  
竹袋調整池の場合には花の紹介などはホームページ等で行っているものではあるが、そういった場所もより力を入れて PR をしていきたいと考えている。
- 委員  
事務局  
関連するものとして、花の丘公園についても、県と市で連携して上手く PR できないものか。  
かつて花の咲き誇る街にしようということで市と県の連携を図る動きもあったが、たしかに今は連携が薄くなってしまっていると感じる部分があるので、機会を捉えてうまく連携できればと考えている。
- 委員  
事務局  
花壇づくり支援について 5 団体ということだが、これは支援を希望する団体が 5 団体であったということか。募集数に対してオーバーした場合はどうするのか。  
今年度はぴったり 5 団体だった。支援は先着順で行うことになる。  
5 団体ずつ募集してイルミネーションは 4 団体、花壇は 5 団体であったということで、今後の増加傾向なども注視し、予算の増額も検討していく。
- 委員  
若者や子供に向けた事業も継続・検討をお願いします。
- 委員  
事務局  
令和 5 年度のシティプロモーション効果検証については今後も行うものなのか。  
毎年は行っておらず、平成 27 年度が最初で、2～3 年に 1 度のもの。シティプロモーションプランというものがあり、現行の計画期間が令和 7 年度までとなっている。今後としては、ちょうど次期総合計画の策定の時期で、市としてもプロモーションをどのように行っていくか検討が必

要な状況であるため、次回の実施については未定。  
市の認知度が高まっている状況でもあるので、今までは外部への情報発信というものであったが、市民への情報発信もより強く行っていき、市内を重視する施策や基金の活用を行っていくことを考えている。

委員  
事務局

牧の原公園のコスモスの開花状況について  
気候のためか、少し遅いような印象は受けている。  
INZAI LIFE に一緒に掲載されている吉高の大桜についても、写真は鮮やかであるが、現地に行くと老木で欠けている部分もあり、樹木医の見立てもかなり限界を迎えているようなところなので、正確な情報の提供にも努めていきたい。小林牧場の桜並木も吉高の大桜も市の看板的な名所であるので、十分注視していきたいと考えている。

その他 座長  
事務局

この基金を充てましたというような看板を立てるなどをすると市民の目にもついていいのでは。  
基金の充て先については本来、明瞭にすべきものであるのでそういった対応は検討したい。

以上

令和6年度第1回印西市ふるさとづくり運営会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和6年10月16日

印西市ふるさとづくり運営会議委員 清宮 絹代